【第1問】

問1

										10										20					25
	エ	事	間	接	費	の	変	動	予	算	は		操	業	度	の	増	減	12	対	す	る	原	価	発
	生	の	動	き	に	ょ	っ	τ		変	動	費	予	算	٢	固	定	費	予	算	に	区	分	さ	れ
	る	0	操	業	度	の	増	減	に	応	じ	τ	総	額	に	お	い	て	比	較	的	動	<	原	価
	を	変	動	費		٦	れ	に	対	し	τ		あ	る	特	定	期	間	中	は		操	業	度	の
5	増	減	1=	か	か	わ	b	ず	総	額	1=	お	い	τ	変	化	L	な	い	原	価	を	古	定	費
	٢	い	う	0																					
	弾	カ	的	な	原	価	管	理	の	た	め	1=	は	変	動	予	算	方	式	が	望	ま	し	い	0

問2

										10										20					25
	標	準	原	価	は	そ	の	厳	格	度	を	基	礎	に		1	理	想	的	標	準	原	価		2
	現	実	的	標	準	原	価		3	正	常	標	準	原	価	の	Ξ	っ	1=	大	き	<	分	類	5
	れ	る	0	1	は		達	成	可	能	な	最	大	操	業	度	で	の	最	高	能	率	を	表	す
	0	2	は		良	好	な	能	率	の	ŧ	٢	ı	お	い	τ	そ	の	達	成	が	期	待	さ	れ
5	る	0	3	は		経	営	活	動	に	関	す	る	比	較	的	長	期	1=	わ	た	る	過	去	の
	実	際	の	数	値	を	統	計	的	に	標	準	化	し		٦	れ	1=	将	来	の	す	う	勢	を
	加	味	し	た	正	常	能	率	等	に	基	づ	い	τ	決	定	\$	れ	る	0					

【第2問】

1	2	3	4	5
カ	エ	ス	п	y

【第3問】

問1

供用1日あたり損料

18, 400

問2

社内損料計算方式による場合

¥ 1,030,400

すくい出し方式による場合

¥ 998, 000

【第4問】

問1 営業利益の増減

37,000 千円

記号 (AまたはB)

Α

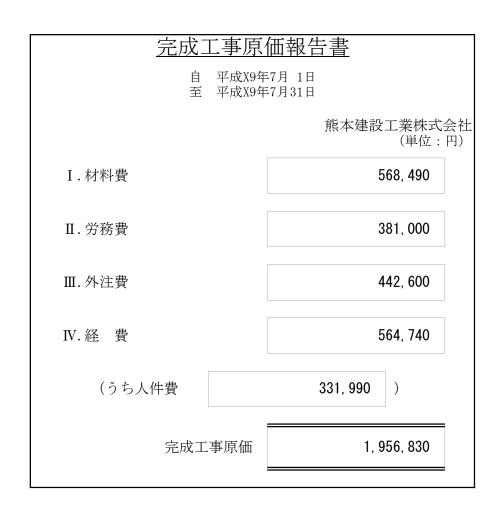
問2

会社全体の年間の需要件数

40 件以上

【第5問】

問1



問2 ¥ 1, 162, 915

問3

①材料副費配賦差異

¥ 3,845 記号 (XまたはY)

χ

②重機機械部門費予算差異

¥ 3,950 記号 (同 上)

Χ

③重機機械部門費操業度差異

7,350 記号(同 上)

Υ